添付文書(第３版)
2022年11月8日

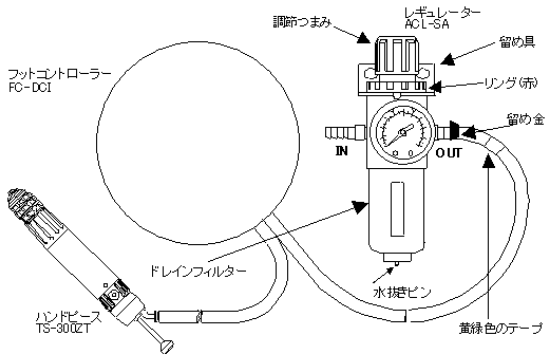
届出番号 13B2X00108000004

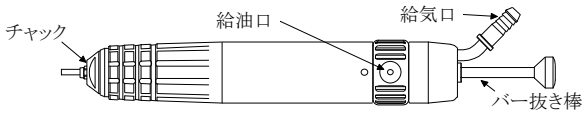
機械器具 61　歯科用ハンドピース
一般医療機器　歯科技工用ガス圧式ハンドピース（JMDN コード：70745000）

技工用エアータービンハンドピースセット

【形状・構造及び原理等】

〔形状・構造等〕





モデル名	ND-300Z
最高回転速度	320,000rpm
使用適性空気圧	0.3MPa
使用最大空気圧	0.3MPa
使用可能バー	JIS T 5504- 1：2001 軸部形式３(φ1.6 ㎜)

【使用目的又は効果】

歯科技工における切削研磨作業に用いる。

【使用方法等】

1.コンプレッサーとの接続
コンプレッサーからのホースをレギュレーター(ACL-SA)の IN 側（形状構造等の図左側）に接続します。その際、空気が漏れていないか、接続がゆるくないかご確認下さい。

2.フットコントローラーの接続

a)レギュレーター側

①ACL-SA の OUT 側の留具を回して外します。

②FC-DCI から出ている黄緑色のテープのついているチューブに①で外した留具を通します。

③ACL-SA の OUT 側をチューブに差込み、留具で固定します。

④FC-DCI から出ているテープのついていないほうのチューブに TS-300ZT を吸気口に差し込んでください。このとき、しっかりと TS-300ZT 吸気口の奥までチューブを入れて下さい。

＊FC-DCI からのホースを逆に装着しますと正常にハンドピースが動作しません。空気の漏れるよう音などが FC-DCI からしましたら正常に接続されていないと思われますのでご確認下さい。

3. 供給空気圧の設定方法

①コンプレッサーの空気圧を 0.4MPa 程度に設定して下さい。

②ACL-SA の調節つまみをカチッと音のするまで上に引いてから回し、空気圧を調節します。空気圧は 0.3MPa 以下に設定して下さい。

③調節つまみを下に押すと空気圧がそこで固定されます。

④FC-DCI を踏むと空気が TS-300ZT へ流れハンドピース先端が回転します。（FC-DCI の踏み加減でハンドピースの回転を調節できます）

4.ハンドピースの接続
ハンドピース吸気口にフットコントローラーからの空気供給ホースを接続して下さい。

5.バーの交換
バーを外すには、バー抜き棒を押し、バーを押し出します。その際バーが勢いよく飛び出すこともありますのでご注意下さい。また、バーを挿入するには付属の六角ボックスを使用しバーを止まるまで押し込んでください。

6.フットコントローラーを押し、空気をハンドピースに送りこみ、ハンドピースを駆動させて使用する。

〈使用方法に関連する使用上の注意〉

1) バーを取付ける際は、途中で止めず、バーが奥まで確実に入った状態で装着すること。

2) ハンドピースに使用するバーには、規格外のバーを使用しないこと。

3) バーが折れたり、飛び出したりして怪我をする恐れがあるため、ハンドピースに使用するバーには、傷、変形、錆又は欠けのあるバーや、異物又は洗浄剤が付着したバーは絶対に使用しないこと。

4) 回転時には給油口とハンドピースの赤印を合わせないでください。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1) バーの着脱は回転が完全に止まってから行うこと。

2) バーが確実に装着されているか確認してから使用すること。

3) 回転中のバーには触らないこと。

4) バーメーカーの指定する許容回転速度に従うこと。

5) 切削時は安全、健康のため防護眼鏡、研磨ボックス、バキューム等を使用すること。

6) 故障の原因となるため、ハンドピースを落下させるなどの強い衝撃を与えないこと。特にバー及びチャックを他のものにぶつけないようにすること。

7) 装着するバーはいつもきれいにすること。

8) 薬液等が本製品に付着した場合、腐食する恐れがあるので、速やかに清拭すること。酸化電位水、滅菌液での洗浄、漬浸は行わないこと。

9) ハンドピースの振動、音、温度(発熱)に十分注意し、使用開始前にあらかじめ回転させ、点検を行うこと。

10) 使用中異常を感じたら使用を中止すること。

11) 供給する空気を正常に保つために、コンプレッサーなどの装置のメンテナンス（水抜き等）を月に１度以上行うこと。

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

(1) 水のかからない場所に保管すること。
(2) 結露しない場所に保管すること。
(3) 温度、湿度、埃、塩分、硫黄分等を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に保管すること。
(4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

〈耐用期間〉

５年間。（自己認証（当社データ）による。）

※正規の使用方法、保守点検、消耗品などの交換を行った場合に限る。

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検事項（日常点検）〉

No.	点検内容	点検頻度
1	清掃・ハンドピースの注油	作業ごと
2	動作の状態 （バーの振れ、振動、異音、発熱）	使用前
3	バーの保持　(バーのゆるみ)	使用前

しばらく使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に装置が正常且つ、安全に作動することを確認すること。

1) ハンドピース表面の清掃

１. ハンドピース表面に付着した汚れを布やブラシなどを使用し拭き取ってください。その際にアルコール等を使用した場合、清掃後に必ず注油をしてください。なお、ハンドピース内部にアルコールや水分が入りますと故障の原因となりますので、布などへのアルコールなどの浸し過ぎにはご注意ください。

2) 注油方法

1. 給油リングを回して給油口をハンドピースの赤印に合わせます。
2. 給油口に市販のハンドピーススプレーのノズルを差し込んで約２秒間スプレー注油を行ってください。
3. 給油リングを赤印からずらし、エアーを送り試運転します。この際、ハンドピース先端より過剰なオイルが飛び散ることがあります。被削物にかかったりしないよう十分に注意をして下さい。
また、その際に、ハンドピース先端(チャック部)などから汚れが余分なオイルと一緒に出てくるようであれば、汚れが出なくなるまで 2.の注油と 3.の試運転を繰り返してください。

3) 交換部品、保守用品は以下のものを使用すること。

１. 交換部品

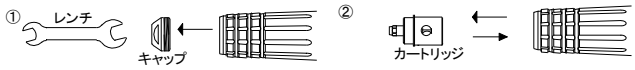
ハンドピース	TS-300ZT
カートリッジ	CRT-300Z
フットコントローラー	FC-DCI
レギュレーター	ACL-SA

＊カートリッジの交換は少なくとも使用毎６ヶ月に１度行って下さい。

２. 保守用品
エアータービンハンドピース用オイルスプレー

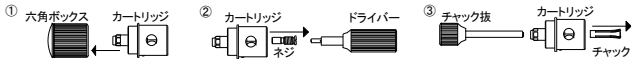
4) カートリッジの交換方法

1. 付属のレンチでハンドピースのキャップを回し、外してください。（下の図①を参照）
2. 中に入っているカートリッジを取出し、交換して下さい。（下の図①を参照）
3. 交換するカートリッジの挿入時に本体溝とカートリッジ突起を合わせて挿入して下さい。正しく合わせないで無理に挿入しますと故障の原因となりますのでご注意下さい。



5) チャックの交換方法

1. バーを抜いた状態でカートリッジ先端（バー装着側）に六角ボックスをはめ固定します。（下の図①を参照）
2. 固定したカートリッジの反対側（本体に挿入する側）中央のネジを付属のドライバーで回し、ネジを外します。（下の図②を参照）
3. 六角ボックスを外し、チャックに付属のチャック抜きを刺し、チャックを押し出します。（下の図③を参照）
4. 元に戻すには②～③を逆の手順で行って下さい。



【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

〔製造販売業者〕

中村デンタル株式会社
電話番号　03-3955-5307

〔製造業者〕

中村デンタル株式会社